

家庭的保育事業の現状と課題

現 状	課 題	具 体 的 な 対 応
<p>1. 利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育について情報がない ○サービスの質が確保されているか (密室性、保育者の孤立) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の子育て支援拠点による支援機能の充実 ・保護者に対する情報提供 ○実施基準の設定 ○研修の充実強化 ・研修の体系化 	<ul style="list-style-type: none"> ○連携保育所の支援 ○家庭的保育支援者の配置 (H20年度予算案) ○市町村による情報提供、代替保育、 巡回指導・相談体制等の整備 ○研修の体系化
<p>2. 家庭的保育者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○負担が大きい <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育、保護者への対応を 一人ではなければならない ・病気や用事で休みが取りにくい ・事故等の責任を負わなければならない ・収入が一定しない ○孤立しがちである <ul style="list-style-type: none"> ・相談する相手が近くにいない ・保育の知識や技術を高める機会 が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・代替保育の確保 ・巡回指導・相談 ・連携保育所の確保 ・健康診断 ○報酬単価の引き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・損害賠償保険費用の算入 ・補助員の雇用 ○研修の充実強化(再掲) ○地域の子育て支援拠点による支援機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的保育者の相談、交流 ・保護者に対する情報提供(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ○連携保育所の支援 ○家庭的保育者の補助単価の見直し (H20年度予算案) ○家庭的保育支援者の配置 (H20年度予算案) ○市町村による情報提供、代替保育、 巡回指導・相談体制等の整備 ○研修の体系化